

I-(1)-② 地域再生プロジェクト

地域再生フィールドワーク実習「山里の聞き書き」

【概要】

地域フィールドワークをつうじて、山村の生活史に触れることは、地域学部学生にとって「地域を知る」という点において大変重要な経験となる。「聞き書き」は、①地域住民による「生きられた」歴史の記録として重要であると同時に、②語り手（地域住民）と聞き手（学生）が対面し、相互作用的に構築される、ひとつの「歴史的な出来事」である。このような記録性と作品性を兼ね備えた、学部学生によるフィールドワーク実習は、『地域学入門』（テキスト）において、仲野が論じている「気づき」の機会を学生に提供することであり、また、家中が論じている「民間学」の系譜につらなる手法を体験させることになる。あわせて、フィールドワーク実習における講習（座学）を小学校空き校舎において実施することで、地域住民が進めている旧小学校利活用による地域づくりの拠点形成にも貢献する。

【キーワード】 聞き書き、山村の生活史、フィールドワーク、地域住民との協働事業、小学校空き校舎利用

【参加メンバー】 地域政策学科 准教授 家中 茂

：全体コーディネート・下記の地域連携先との調整・学生の指導

地域政策学科 准教授 仲野 誠

：学生の指導

地域連携研究員 清藤 奈津子（NPO 法人山里文化研究所）

：学生の指導

【計画】

■2013年度実施スケジュール

①聞き書き学生「聞き手」募集（1年生～3年生の必修講義においてチラシ配布＋学内掲示。教員による推薦）

5月6日～6月14日（締切）

・山郷地区「語り手」の候補は、家中が山郷地区の方と相談して進める。

②第1回聞き書き塾（1泊2日／智頭町旧山郷小学校）7月6日（土）～7日（日）実施

・聞き書き塾の前日7/5（金）夜、山郷地区で「聞き書き」ミニ講演会（予定）

・6月半ばには、参加者（聞き手）も語り手も確定させる。

③第2回聞き書き塾（1日・地域学部にて）8月23日実施

・学生は、第1回聞き書き塾から第2回聞き書き塾のあいだに、語り手を訪問し、お話を聞いて、記録を起こし、第2回聞き書き塾にて、中間発表をする。

・第2回聞き書き塾の後、学生は、1回～2回、語り手を訪問し聞き取りを実施し、原稿ができあがるまで、講師の清藤氏との間でメールをつうじて原稿のやりとりをして、添削指導を受ける。

④11月30日、地域学研究大会にて、今年度成果を報告（予定）。

⑤12月1日、智頭町山郷地区振興協議会と共催で、聞き書き集発刊記念の集いを、旧山郷小学校にて開催（予定）。

【連携先】 智頭町企画課

智頭町各地区振興協議会

2013年度 山郷地区振興協議会

2014年度～2015年度の聞き書き実施は、智頭町内の他地域の地区振興協議会と連携する予定である。

NPO 法人 山里文化研究所